２０２３年（令和５年）　６月２３日　金曜日

デーリー東北　１４面　掲載

高校野球青森大会組み合わせ

工大一、光星２回戦から

第105回全国高校野球選手権青森大会（7月12～26日）の組み合わせ抽選会が22日、青森市の青森県総合社会教育センターで行われ、出場48チームの対戦相手が決まった。春季青森県大会を制した工大一の初戦は「青森商―三沢」の勝者。組み合わせを見ると、Aブロックは12チーム中8チームが県南勢。八戸西や八学野西、工大二などが工大一に挑む展開か。Bブロックは八学光星の行く手を弘前東や八戸北などが阻めるか。

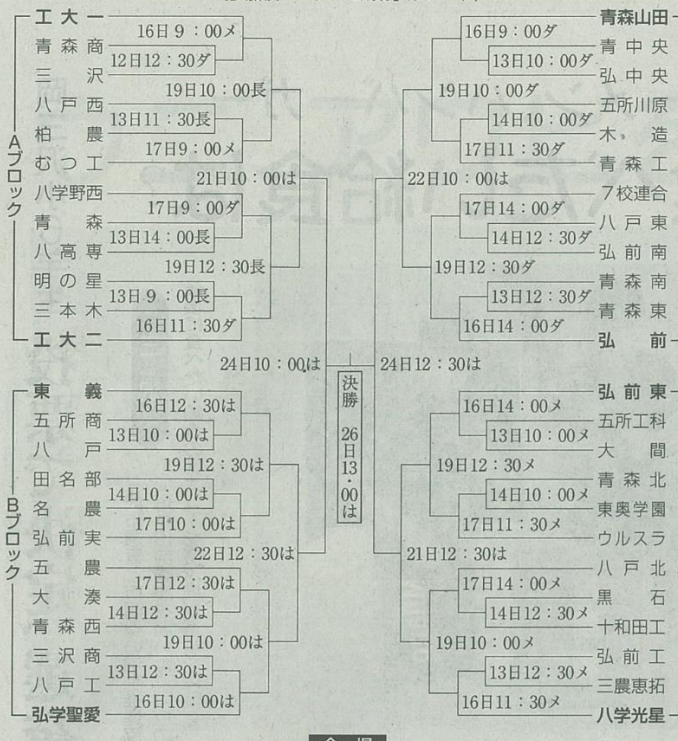
大会初日は、青森市のダイシンベースボールスタジアムで午前10時半から開会式を行った後、午後0時半から青森商―三沢による開幕試合を行う。

13～19日は同スタジアム、八戸市長根球場、六戸町メイプルスタジアム、弘前市はるか夢球場の4会場で3回戦までを実施。準々決勝以降はるか夢球場が舞台となる。日程が順調に進めば、26日が決勝。15、18、20日が調整と移動日で、23、25日が休養日となる。

全国高校野球選手権大会は8月6～22日、甲子園球場で行われる。（磯野雄太郎）

第105回全国高校野球選手権青森大会組み合わせ

（参加校＝48チーム、太字はシード）



会場

は：はるか夢球場（弘前市営）　ダ：ダイシンベースボールスタジアム（青森市営）

長：八戸市長根球場　メ：メイプルスタジアム（六戸町）

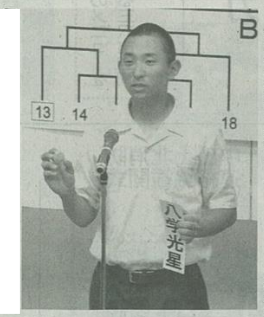
※7校連合＝七戸、六ケ所、野辺地、百石、八戸商、浪岡、松風塾の連合チーム

県南シード3校主将 本番に向け気合十分

○…春季青森県大会で上位に食い込んだ県南地方のシード3校の主将はそれぞれの対戦相手が決まり、開幕まで約3週間となった本番に向け、気を引き締めた。

八学光星は、春季県大会準V、東北大会優勝と勢いに乗る。中澤恒貴主将は「チーム状態は上がってきた。一戦必勝で頑張る」と意気込む。県大会を制した工大一の長谷地耀主将も「挑戦者の気持ちを持って臨みたい」と気合十分だ。

春8強の工大二は工大一と同じブロックに入った。順当に勝ち進めば準々決勝でぶつかる。速応健聖主将は「どこが相手でも目の前の試合に集中していく」と完全燃焼を誓った。



組み合わせ抽選に臨む（右から）八学光星の中澤恒貴主将、工大一の長谷地耀主将、工大二の速応健聖主将＝22日、青森市

デーリー東北新聞社提供